

【第1の目標】(学習指導要領)

【学校目標】 すべての児童にとって、楽しくてたまらない学校

【重点目標】 ○自分も他の人も大切に、積極的に人とつながり合う児童の育成○自分で考え、失敗を恐れずに挑戦できる児童の育成○目標に向かって、あきらめずに最後まで努力できる児童の育成

【児童の実態】  
・素直でまじめ・基礎的な学力が定着している子が多い・自分で考えて行動できない  
・失敗をおそれる・コミュニケーション力が不十分

【保護者の願い】  
・豊かな人間関係と健康で安全な生活  
・基礎的・基本的な知識及び技能の定着  
○思考力、判断力、表現力の育成

【地域の実態】  
・家庭での教育力が高い  
・地域人材が豊富  
・地域のつながりが希薄  
○学校教育に対する理解があり、協力的

【地域の願い】  
○地域や文化、歴史等に誇りをもつ  
○豊かな人間性を身に付けている  
○地域と積極的に関わり、行事等にすすんで参加する

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。	地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

【内容】<目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

		3年	4年	5年	6年	
目標を実現するにふさわしい探究課題		地域と人々	福祉	環境	未来と平和	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識の概念化	地域にはたくさんの方が住んでいて、さまざまなお仕事をされている人々が存在していることを理解することができる。	地域にはさまざまなニーズを持った人がいて、それぞれ暮らしやすいように考えていることと自分たちの生活とのつながりがあることを理解することができる。	地域には多様な自然や産業があることを知るとともに、その自然や産業と自分たちの生活がつながっていることを理解することができる。	地域や社会には様々なよさや課題があることを知るとともに、課題の解決に向けての取組が地域の未来、自分の未来を創造することにつながっていることを理解することができる。
		技能の身体化	調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて発揮することができる。	調査活動や情報収集、表現活動の手順や方法を身に付け、目的や意図に応じて活用することができる。	各教科等の知識及び技能を活用した探究活動により、学習のつながりを見いだすことができる。	
		探究的な学習のよさの理解	学習対象と自分たちの生活がつながっていることを理解することができる。			
思考力、判断力、表現力等	課題の設定	自分の関心から課題を設定し、解決方法を考え追跡することができる。		地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追跡することができる。		
	情報の収集	目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる。		目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりすることができる。		
	整理・分析	問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けることができる。		視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けることができる。		
	まとめ・表現	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。		相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。		
学びに向かう力、人間性等	主体性・協働性	課題の解決に向けて目的意識をもち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。		課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。		
	自己理解・他者理解	自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解しようとする。		探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。		
	将来展望・社会参画	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとする。		探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。		

【学習活動】  
・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。  
・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。  
・学習成果を表現する場を設定する。  
・年間1テーマでの取組を基本とする。

【指導方法】  
・児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。  
・個に応じた指導の工夫を行う。  
・体験活動を重視する。  
・各教科等との関連を重視した指導を行う。  
・言語により書いたり、まとめ・表現したりする学習を重視する。  
・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】  
・全校指導体制を組織する。  
・各学年の取組を定期的に交流する。  
・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。  
・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。

【学習評価】  
・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。  
・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。  
・個人内評価を重視する。  
・指導と評価の一体化を充実する。  
・授業分析による学習指導の評価を重視する。  
・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等で育成する資質・能力】

国語	社会	算数	理科	生活科	音楽
・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けて活用する ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力 ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめたり広げたりする など	・調査活動、地図帳等の具体的な資料を通して、必要な情報を適切に調べてまとめる技能 ・社会的な事象の特色や相互の関連、意味を(多角的に)考える力 ・考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 など	・日常の事象を数理的に処理する技能 ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力 ・基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統一的・発展的に考察する力 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力 など	・自然の事物・現象についての理解及び、観察、実験などに関する基本的な技能 ・(必要に応じて)観察、実験などを行い、問題解決をする力 など	・自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる など	・表したい音楽表現をするために必要な技能 ・音楽表現を工夫すること など
家庭	図画工作	体育	外国語活動・外国語	特別の教科 道徳	特別活動
・家族や家庭、衣食住、消費や環境について、日常生活に必要な基礎的な理解とそれらの技能 ・日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考える力 ・実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどの課題を解決する力	・材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりする技能 ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想する力 など	・運動の特性に応じた各種の運動の行い方や身近な生活における健康・安全についての理解 ・運動や健康について自己の課題を見付け、その解決に向けて思考・判断したり、他者に伝えたりする力 など	・外国語を通しての言語や文化についての体験的な理解 ・日本語と外国語の音声の違い等への気付き ・外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする など	・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 など	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解と行動の仕方 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする など

【地域との連携】

